



城東



城東地域は鷺野駅を拠点として、JR学研都市線・JRおおさか東線・地下鉄今里筋線が交差する交通網が開けた地域です。また、平成30年には、城東小学校金管バンド「チック・タック・トゥー」が創部50周年、令和元年には城東幼稚園が創立80周年など、さまざまに長い歴史を引き継ぐ地域でもあります。

地域の活動では、地域の歴史を振り返る座談会を開催し、上は昭和7年生まれから下は昭和40年生まれの方々がそれぞれ体験された遠足・給食・運動会などの思い出を語っていただきました。近年では新型コロナ感染予防を行いながら、「いきいき・かみかみ百歳体操」や「想定浸水深」を確認するまち歩きを行いました。

今後は城東地域のマスコットキャラクター「城東シギちゃん」とともに、誰もが「住み続けられるまちづくり」を継続できるよう貢献していきます。



鷺野



城東区制80周年まことにおめでとうございます。鷺野連合にとって、この10年新しい町づくりが3件達成されました。1件目は、鷺野小学校と地域が一体となって取り組んだ、子ども見守りです。結果2016年9月29日に東京において、子ども見守り隊が全国表彰を受賞することができました。2件目は、2016年7月より高齢者を見守る、お元気ですか隊がボランティア委員100名近く登録いただきスタートできたことです。3件目は、防火防災に関してです。鷺野地域は北に第一寝屋川南に第二寝屋川に挟まれています。常に水害に対する意識を高めてもらう目的で、電柱に想定される浸水を数値化し、表示したのが想定浸水深です。同時期に災害時にいち早く安否確認ができるように無事ですステッカーを全戸配布いたしました。これから先の町づくりは高齢者の日常生活での困り事のサポート、買い物、通院難民の移動手段体制の確立を作り上げていくことではないかと考えています。



聖賢



聖賢地域活動協議会は、振興町会とともに昭和26年に発足し、今年でめでたく80周年を迎えることとなりました。歴代会長をはじめ地域住民、関係者方のご協力に心より感謝申し上げます。コロナ禍での行政の行事や地域の行事が、ことごとく中止になりました。疲弊した地域を活性化させたい思いで令和4年は、7月に聖賢祭りを感染対策として、検温を徹底して開催したところ、最多の1,500名以上の参加者、各町会より20店舗が営業できました。また3年ぶりに開催することとなりました聖賢文化音楽祭の出演団体を募集したところ障がい者団体をはじめ20団体300名以上の参加があり、文化活動をしている方々の発表の場として、地域をあげて音楽を楽しんでいただきました。ありがたいことに地域のために使ってほしいと50万円を寄付してくださる奇々な方がおられてさてこの大金をどう使わせていただくか検討した末、次世代に目が向いた子どもたちに愛されるマスコットキャラクターをつくろうと聖賢小学校に相談しましたところ、小平校長先生が、「それは、面白いですなあ」とアイデアにのっていただき、デザインを全学年に公募しかわいい聖賢のセイトンのイラストが誕生し着ぐるみに発展、入学式に初お目見えとなりました。セイトンは、校下のイベント「見守り隊への児童からの集い」「交通安全運動」にも参加して、頼もしい活躍ぶりです。聖賢小学校で、出前相撲授業がありました。体操服の代わりにTシャツにセイトンをそれぞれがプリントアウトして、まわしを着用して、セイトンと取り組みをして、授業の一貫として参加しました。



今福



城東区制80周年おめでとうございます。今福地域活動協議会が発足し、今年で10周年になりました。新しく事業として「今福成人式」「今福運動会」「プログラミング教室」「麻雀教室」「大規模防災避難訓練」等に取り組んできました。しかしこの3年間は新型コロナウイルス対策で殆どの行事が中止となり残念でした。新型コロナの終息を願い地域の活性を望みます。

現在の今福地域活動協議会の重点課題は高齢者対策と少子化問題です。城東区で一番の高齢化率となる今福では、災害時に介護を必要とする高齢者や障がい者の避難の場合には隣近所の連携が必要であり、訓練を実施する必要があります。

また、少子化問題として、学校選択制度が導入されてから今福小学校の児童数が著しく減少しており、今後の今福地域活動も考え直していく所存です。

